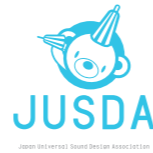


# 聴こえやすい教育環境を、全国の子どもたちへ。

NPO法人 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会は、comuoonの寄贈を通じて、全国のろう学校や難聴学級の教育環境の改善をお手伝いしています。



## comuoon寄贈プロジェクト「きこえのあしながさん」。

研究開発当初より「comuoonができれば学校にプレゼントしたい」という理事長・中石の強い思いから実現したプロジェクト。2014年は、全国のろう学校と難聴学級計10校に寄贈を行いました。



## 様々なジャンルの著名人が、聴こえの活動をサポート。

聴こえの親善大使として活躍するレーシングドライバー横溝直輝選手を筆頭に、音楽アーティストや作曲家、デザイナーなど様々な著名人が聴こえの活動を支援しています。



## 日本各地で、聴こえのセミナーを開催。

中石自らが日本全国を駆け回り、教育機関や自治体、障害者支援施設、企業を対象にセミナーを開催。聴こえの大切さを伝えるための講演活動を行っています。

### comuoon 製品仕様

「comuoon(コミュニケーション)」とは、「communication(コミュニケーション)」と「cocoon(コクーン: 蔕の意)」を合わせた造語です。「健聴者と難聴者・中途失聴者双方にコミュニケーションを楽しんでほしい」、「全く新しい聴こえのかたちが生まれる」という意味を込めています。また、「コミュニケーション」という呼び名は、フランス語のコミュ[komy] (共用・共有の意)にあたり、「聴こえのユニバーサルデザインを実現していく」という意味を込めたネーミングです。

コントロールドック(アンプ)部		スピーカー部	
再生周波数帯域	20Hz~22,000Hz	型式	密封型
	Ø3.5mm3極ミニジャック	実用最大出力	10W 8Ω
	最大入力レベル: 2Vrms	内容積	0.35L
マイク入力	Ø3.5mm3極ミニジャック	スピーカーユニット	Ø60mm フラットスピーカー
	プラグインパワー方式	周波数特性	80Hz~20,000Hz
実用最大出力(JEITA)	10W	最大外形寸法	95mm(W)×95mm(D)×133mm(H)
T.H.D.	0.2%以下(1W出力時)	質量	328g
S/N比	85dB以上(JIS-A、ライン入力時)		
電源電圧	DC15V	マイク部	
外形寸法	86mm(W)×86mm(D)×50.4mm(H)	ケーブル長	1.5m
質量(本体のみ)	97g	ACアダプタ部	
		ケーブル長	3.8m(電源コード接続時)

**お問い合わせ窓口** 製品の仕様・使い方や修理・製品のご相談は、お電話、ホームページおよびEメールサポートまでお願いいたします。

当社では、聴こえが気になる方でもお問い合わせいただけるように、お電話とは別にメールアドレスおよびWebサイトでの窓口を設置させていただいております。

TEL:03-6427-6815 FAX:03-6745-3329 ホームページは「<http://u-s-d.co.jp>」から、Eメールの場合は「[support@u-s-d.co.jp](mailto:support@u-s-d.co.jp)」へお問い合わせください。

受付時間 10:00~18:00 土・日・祝、休業日を除く ※お休み明けなどの混雑時は、ご返信にお時間をいただく場合がございます。

## universal sound design® ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

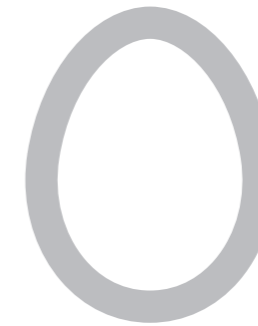
東京本社 〒105-0022 東京都港区海岸1-7-8 東京都立産業貿易センター浜松町館6F TEL:03-6427-1467 FAX:03-6745-3329  
 西日本支社 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2-4-22 新日本ビル3F TEL:092-713-7474 FAX:092-713-7473  
 九州オーダースセンター/九州サービスセンター 〒842-0032 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町立野950 TEL:0952-37-8208 FAX:0952-37-8208

私たちはNPO法人 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会を通じ、難聴や中途失聴で聴こえの支援が必要な方に様々な活動を通じて支援を行っています。また、製品の売り上げの一部を寄付させていただくことで、聴こえ支援機器の寄贈を行っています。

「ユニバーサル・サウンドデザイン®」「comuoon®」は、ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社の登録商標です。

### 卓上型対話支援システム comuoon 正規代理店

「聴こえやすい」を、  
みんなのあたり前に。



# comuoon®

COMMUNICATION SUPPORT SYSTEM

卓上型対話支援システム

コミュニケーション



universal sound design®

# 日々の“対話”をスムーズに。

医療や福祉、教育現場など、私たちが難聴の方と接する機会は日常の至るところに溢れています。そんなときcomuoonがあれば、話し手と聴き手の双方に大声で会話をするストレスを与えず、気持ちの良い円滑なコミュニケーションが可能に。いまcomuoonは、様々なシーンで活躍の場を広げています。

## 病院 × comuoon®

### 伝わってこそ、本当の診療。

当院では、診察室でcomuoonを導入しています。難聴の患者さまはご家族と来られるケースが多いのですが、その際ご家族に普通にお話をして、後からもう一度ご本人に同じ内容を言い直すというスタイルになりがちなんです。でも、comuoonがあれば同時に聴いていただけるので非常にスムーズですね。それは効率だけでなく、患者さまの気持ちの面でもとても良いことだと感じています。医療現場で起きるエラーの多くはミスコミュニケーションが原因です。そういう意味でも、高齢化の進む社会でcomuoonはますます重宝されるのではないのでしょうか。



清末 有宏 院長  
東京駅センタービルクリニック院長。東大病院循環器内科でスタッフドクターを務める傍ら、2009年に本クリニックを設立。現在、両方の現場でcomuoonを活用し、難聴の方を含め患者本人と対話する医療に取り組んでいる。

## 学校 × comuoon®

### 聴こえる喜びが、学ぶ楽しさに。

本校では、難聴学級でcomuoonを活用しています。初めて導入したときに英語の授業で実験をしたところ、生徒たちからは「よく聴こえる!」と絶賛の嵐。難聴者が聴き取りづらいと言われるk、s、tの発音までも聴き取れたことには、30年以上も難聴学級に携わっている私も正直驚きました。いままでの聴覚障害児教育は聴覚情報を視覚情報に置き換えていましたが、comuoonは聴覚情報をそのまま鮮明に伝えることができる画期的なシステム。おかげで、英会話の授業に対する生徒たちの苦手意識が薄まり、楽しみながら積極的に学ぶようになりました。



山口 淳 教諭  
東京都台東区立柏葉中学校難聴学級教諭。33年にわたり難聴学級とろう学校を受け持ち、東京都の聴覚障害教育を牽引。他校の生徒も自身の難聴学級に受け入れ、積極性やコミュニケーション力を育むきめ細やかな指導を行っている。



卓上型対話支援システム  
コミュニケーション

### 話者側でできる “聴こえの支援”を。

現在、日本の難聴者数は推定1500万人とされています。しかし、日本の補聴器使用率は僅か14.1%\*、欧米諸国に比べて2倍以上の開きがあるのが現実です。そこで私たちは、難聴者側ではなく「話者側でもできる支援はないか?」という視点に立ち、全く新しいコミュニケーションサポートシステム「comuoon」を開発。comuoonが生み出すクリアな音が、「聴こえやすい」を本当の意味でのあたり前へと変えていきます。

\*出典：難聴・補聴器に関する日本初の大規模なアンケート調査「Japan Trak2012」

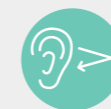


## comuoonの特長



語音聴取に  
最適な特性

語音の聴取は、比較的低周波の母音よりも高周波の子音によるところが大きく、特にk、s、tといった子音は高い周波数を持っています。これらをカバーする周波数特性を、筐体の形状で生み出しています。



室内での  
音の反射を抑制

comuoonは独自の卵形状とスピーカ―の最適配置により、2kHz以上の音はスピーカ―の前方に強く指向します。室内の壁の反響音を抑え、クリアな音声を再現します。



中等度難聴者  
までカバー

九州大学耳鼻咽喉科の検証により、70dB程度の中重度難聴者(感音難聴も含む)で補聴器を装着せず往診時での有用性が確認され、老人性難聴の方でも高い効果が実証されています。



対話の際の  
満足度が向上

大声で会話をすることは、話す側と聴く側双方にとってストレスとなります。comuoonがあれば声を荒らげる必要がなくなり、話者と難聴者双方のコミュニケーションの改善が可能です。

音を明確に分解する  
アルミフラットパネル



話者の声を的確にとらえる  
高性能ショットガンマイク



かんたん操作で誰でも使える  
comuoon control dock



日本の音響技術を結集し  
小型化と聴こえやすさを追求

